



やまちゃん通信

～第5号～
2013年3月

■■■この「やまちゃん通信」は、私と何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■■

◆油屋熊八さんをご存知ですか？◆

こんにちは！いつも大変お世話になっております。山翠園代表の山本昌利です。やまちゃん通信第5号をお送りいたします。よろしく願いいたします。

さて、以前「やまちゃん通信第3号」でご紹介させて頂いた本の著者である佐藤元相先生達と、先日九州の大分県別府に1泊2日で勉強会に行ってきました。(終日勉強だったため温泉につかる暇はありませんでした・・・(涙)。)当日、私は朝3時に起き雪が降る中、車で福知山まで行きました。福知山から別府まで特急と新幹線で乗り継ぎながら・・・九州に入るとまた雪が降り出し、九州にまで来て雪に降られるとは・・・とっていました。そして、別府の会場には全国から様々な業種の経営者様が20名程集まり、経営の勉強会を行いました。その中で、特に勉強になったのが“油屋熊八”さんについてのお話です。油屋熊八資料館の館長さんがお話をしてくださったのですが、みなさんは、“油屋熊八(1863～1935)”という方をご存知でしょうか？私は、全く知りませんでした。熊八さんは別府観光の生みの親と言われ、あの「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」というキャッチフレーズを考え、富士山の山頂付近にこのフレーズを刻んだ標柱を勝手に建てた方です。また、女性バスガイドによるバス観光もこの人が日本で初めて生み出しました。そんな方です。

そして、個人的に感激したのは、熊八さんが経営する亀の井旅館に森永製菓の創業者が泊まりにきたときの話です。熊八さん本人はお酒を飲まず、旅館でも出すのはお客様1人に対して2合までと決めていたのですが、森永製菓の創業者がもっとお酒を持ってくるように強く要求すると、その時、熊八さんが「あなたは子供のための菓子を作っている会社の社長であるのに、酒が飲めないのかと悔しがるのはおかしい！」と森永の創業者の要求を断ったのです。正直すごいなあと感激しました。ものすごいアイデアマンであり、また、信念を貫く強い意志も持つ熊八さん。見習いたいところがたくさんありました。



◆やまちゃんおすすめのコーナー◆

京丹後市大宮町の「キッチンうさぎ屋」さん

このコーナーでは、私山本がここはいいなと思ったお店などを、ご紹介させていただきます。今回ご紹介させて頂くのは、京丹後市大宮町にあります欧風料理の「キッチンうさぎ屋」さんです。ある方からの紹介で今回もまたひとりでお昼のランチを頂きに行ってきました！店内はとてもおしゃれで、ランチで「薩摩黒牛 牛すじハヤシライス」を頂きましたが非常に美味しかったです。また、個人的にはドレッシングがめちゃくちゃ美味しくてびっくりしました。「予約が取れない」という噂のあるお店だけのことはあります。ここもまたお勧めです！



■「キッチンうさぎ屋」さん

電話：0772-64-3036（月曜定休）

住所：京丹後市大宮町口大野 1852

営業時間：11時～14時

17時～22時（ラストオーダー21時）

※おすすめのお店がありましたら、

是非、紹介してくださいね！

◆発行者コラム◆

最後までお読み頂きまして、誠に有難うございました。やまちゃん通信第5号は、いかがでしたでしょうか？さて、前回のやまちゃん通信のこのコーナーで、「現在、展示場とお店の改装をしております。」と書かせて頂きましたが、その展示場のリニューアルがほぼ完成いたしました！是非、遊びに来てくださいね！山本昌利

■やまちゃん通信ご不要の方は、お手数ですがお名前を書いてそのままFAXして頂くか、お電話にてお申し付けください。■

【発行者プロフィール】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNo. 1を目指す社長

山本 昌利(やまもと まさとし)

◆生年月日：昭和33年3月24日生まれ ◆出身地：京丹後市大宮町

◆趣味：国内で食べ物がおいしいところへの旅行（主に熊本、長野）

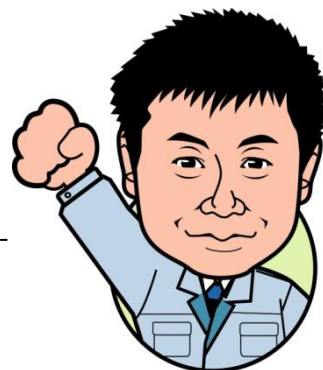
◆家族構成：両親、妻、娘3人 ◆好きな食べ物：地鶏、魚、たまご焼き

【発行元】

“ゆとり”と“やすらぎ”のガーデンづくりでNo. 1を目指します！（株）山翠園

〒629-2502 京都府京丹後市大宮町河辺3715-1

TEL:0772-68-0707(8:00～17:00) FAX:0772-68-0821



山本 昌利